

中2数学 出題のねらいと対策

1 正負の数 80.0%

ねらい：正負の数についての定着度をみる。

分析と対策：(1)四則計算の計算順序に注意しましょう。累乗の計算は、符号に気をつけましょう。(2)負の数は絶対値が小さくなるほど大きくなります。

2 文字式の計算 79.2%

ねらい：文字式の計算の定着度をみる。

分析と対策：(1)③通分してから分配法則を利用して計算します。符号の変化に気をつけましょう。(2)式の値を求めるときは、代入する前に式を計算して簡単にしておきましょう。

3 資料の活用 53.3%

ねらい：データの見方や代表値の求め方などの知識の定着度をみる。

分析と対策：範囲(レンジ)、最頻値(モード)、中央値(メジアン)、平均値、累積度数、累積相対度数について確かめておきましょう。

4 1次方程式 59.5%

ねらい：1次方程式の解法の定着度と文章題への応用力をみる。

分析と対策：(1)②両辺に同じ数をかけて分数を整数に直します。(2) $a : b = c : d$ のとき、 $ad = bc$ です。(3)④ x とおいて求めた解が、そのまま答えになるとは限りません。何を求めるのか確認して解答しましょう。

5 文字式 46.7%

ねらい：等式の変形についての定着度をみる。

分析と対策：等式の性質を利用して、式を「解きたい文字＝～」の形に変形します。

6 文字式の利用 40.0%

ねらい：式による説明の理解度をみる。

分析と対策： n を整数とすると、連続する3つの偶数の表し方や、倍数の表し方を確認しておきましょう。

7 図形 48.8%

ねらい：円の面積、作図の意味、空間内の位置関係、体積など中学1年で学習した図形の基本事項の理解度をみる。

分析と対策：(1)円やおうぎ形について、面積だけでなく、弧の長さを求める方法も確かめましょう。(2)垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図の方法や性質を確かめましょう。(3)①辺や面の位置関係を確認しましょう。②円柱・角柱、円錐・角錐、球について、体積や表面積を求める公式は必ず覚えて使いこなせるようにしておきましょう。公式がそのまま使えない場合は、立体を分けたり、余分な立体を取り除いたりして、公式が使えるようにくふうしてみましょう。

8 比例と反比例 39.5%

ねらい：比例と反比例の基本事項の定着度と応用力をみる。

分析と対策：比例・反比例のそれぞれについて、式やグラフの形を確かめておきましょう。(2)点Eや点Aのy座標が、CEやABの長さを表すことに注目しましょう。(3)長さの差を考えるから、共通部分のAEや、長さの等しいBCとAD以外の部分に注目します。ABとCEの和と、EDとの差は、CEの2倍になります。

全体の平均点は 55.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。